



日刊 五月十一日 昭和三十一年六月一日 第一頁

事變國債の消化

断然平局が優位

今日正午迄に十一萬四千圓 割當てに一萬六千圓残

平郵便局に割當てられた第六、郵便金は素晴らしい成績を上げた。あるが仙台通信局では漢口陥落の憂びと共に一層この擴大を期すべく、平郵便局、区内無集配各局、平市外四ヶ村役場、郷軍平市聯合分會等の主催を以て来る十日午後六時から平市公會堂に講演と映畫の夕を開催する。講演の來場(十三才未満の小児は必ず父兄同伴)を歓迎されるが同會の次第は左記の如くである。

【千圓券七九枚】全部買切れ
【五百圓券四二枚】は三〇枚消化で一二枚残
【十圓券二七〇枚】は一五枚消化で一二五枚残
【五十圓券二〇枚】は賣出開始し買切れ
【百圓券二六〇枚】は消化の一六五枚残
【五百圓券四二枚】は三〇枚消化で一二枚残
【千圓券七九枚】全部買切れ

で十一萬四千五百圓の消化額に上り一萬六千四百圓を消化して来たが平市を中心とする附近に於ける統後の赤誠と經濟力は断然東北に卓越し通信局を所在する仙台局が約十一萬圓の割當に止まり本縣下では福島、若松、郡山の三市何れも多きは平市の半額少なきは四分の一に過ぎざる有様で前記に残された一萬餘圓の如きも最終時までは或は消化されるであらう蓋勢を語られてゐた。

貯蓄報國運動の講演と映画會

政府並に國民精神總動員中央聯盟の提唱に係る八十億の貯蓄報國運動に順應する簡易保

戦地 肌身に難く

の便 肌身に難く 申候

平市中隊出身 大山一美

皆々様には益々御健勝にて御職務にお勤みの由大慶至極の至りと存じ居ります。扱て何時もながら留守宅並びに私共に對し數々の御厚情を賜はり感謝措く能はざるところと存じます。それなまた今般はまた、御遠方まで御出迎ひ下され御見舞を賜はりましたる由感激の極みであります。早速御守護のお札を肌身に置き服務いたして居ります。御陰様にて頗る元氣旺盛、何卒御安神下さるやう御願申上

選挙名簿縦覧

平市に於ける衆議院議員選挙有権者は五二九七名、市會議員選挙有権者は五〇〇六名で前年に比し若干の減少である。今日から来る十五日まで一般縦覧に供してゐる。

管野巡査に 銃後の美行

濱給から見舞金 平署の外勤巡査管野忠幸氏は市内受持區の四軒町二二番號炭礦發電所脚工大枝藤上等兵が内儀部隊に屬して活躍中戦傷せる家族の妻はるさん(三三)が長男進君外四男二女を抱えて可細き生活を立てゝゐるのを同情し濱給の中から金一圓の身舞金を贈り固く秘してゐたところ昨日日本田署長が同家族慰問に當り次第を聴いて管野巡査の隠れたる美行を同署長から激賞された。

残兵掃蕩ながら警備

拜啓、皆々様には益々御健勝にて銃後に御活躍なされ日夜の御辛勞を御察し申し上げます。御陰様にて私も至極元氣で皆様の御期待に添へます様大に奮闘いたして居りますから御休心下さり、既に新聞やラヂオにて種々ニュースを御承知の通り徐州も我が角部隊の一掃蕩に於て陥落、引續き附近の殘兵掃蕩をなすつ、現地に來たり警備中ですが近日中又々〇〇方面へ行動開始の様です。後改めて御知らせいたします。先づは銃後會及び男女青年團員そのなすと

勇士の留守宅に 稻刈の奉仕

平市中平窪部落民は四日區長以下總動員で出征軍人留守宅の稻刈手傳へをなして遺家族から感謝されてゐるが石城郡上遠野村小學校高等科男女生と青年校男女生一同も去る二日村内出征軍人留守宅の稻刈に奉仕作業した。

永戸證書交付式

石城郡永戸村では昨日午前十時村役場に於て同村の現役兵並に補充兵に對する證書交付式を行つた。

軍後へ五十圓

平市才植小路真木光邦氏は父隆四郎翁の供養費を節し金五十圓を軍後援會へ。

平商業校の遠足

平商業職員生徒一同は来る十日赤井嶽登山の遠足運動をなすと

伊豆凡夫少將の 精神作興講演

平鐵道では明日七日の國民精神作興週開第一日に午前九時から驛の樓上に陸軍少將伊豆凡夫氏を聘し講演會を開催し鐵道關係その他市内各種團體代表者と共に聴講すると

トラ幼児を殺す

石城郡植田町の中野金物商大野勝郎氏男列(六)は去る四日午後五時頃自宅前路上で折て露店の終業時刻を適當に定めてよろしいことに致したのであります。

常識講座

ベンチ・ウォーマーを云ふも變なやうだが野球選手がグラウンドに臨みながら出場をせすにベンチに於て味方のチームの勝敗に胸をこたへるかせる選手のこと

小名濱の農産品

小名濱町農會主催の農産品評會は来る十二日から十四日まで小学校講堂に催される

明日は日曜でも 貯金は受ける

平郵便局では来る十日まで貯金獎勵週開を施行中の爲め来る三日の明治節の旗日に受入れを不休止當日の窓口は四百九十二圓二錢、月掛貯金八十圓計五百七十二圓二錢の貯金を受けたが明日六日の日曜に於ても週開期間中の爲め貯金の受入事務に限り取扱ふ由である。

物價統制講演

縣が物價統制に關して開かれる平署管内の講演會は經濟保安部官城警部を派遣の管だが日割左記の如くである。

ダイ五十本隠匿

石城郡内郷村城北炭坑坑夫前科六犯佐久間新吉事萩田新之助(四)はダイナイットの隠匿で平署に嚴重取調べられてゐたが魚捕が目的で同炭火藥庫からダイナイット五十本を窃取してゐたもので贓品を他に賣却してゐる同犯人は村内の按摩業二瓶源七を些細なことから毆打全治二週間の傷を負へた余罪も發覺した。

商店法の説明 (10)

三、商店法の内容

福島縣警察部

(10) 罰則(第十四條、第十五條) 又は毎月二回の休日を取らなかつた場合に於ては五百圓以下の罰金又は科料に處せられるのであります。

又必要があつて官吏が臨検した際に理由なく臨検を拒んだ場合には三百圓以下の罰金又は科料に處せられるのであります。

(11) 汽車、汽船その他の交通機關内の店舗及び露店(第十八條) 汽車や汽船等の中にも賣店がありますが、之等の交通機關内にある賣店には本法は適用ありません。

次に露店にも本法は適用ありません。然し露店の営業時間無制限に認めず、一方一般商店は午後十時に閉店しなければならぬので、其の間に不當の競争が起ると云ふことも考へられますから其の云ふ場合には地方長官に於て露店の終業時刻を適當に定めてよろしいことに致したのであります。

以上が商店法に於ての概要であります。之に依つて從來全く保護を受けて居らなかつた商店の使用者に新たに保護が及ぶこととなるのであります。幸に本法の主旨が充分に理解されその圓滑なる施行を見る事が出来るやう切望する次第であります。

代理店 魁文堂 電話三一三

農業

農業経営を

科學に映す (下)

千年一日の如く鋤耨を繰り返す原始的經營に奮力の利用、共同の機械使用範圍など農耕百穀にわたつての検討は勿論、雇人に無駄はないか、主婦の労働時間は子供連の働きの無理はないか、お勝手の設備は、その營養の良否は、家計の無駄は、病人は、治療の方法は等々々の實態を見究めようとする多角的な調査であるが其の調査結果につき吉岡主任は悉く陳べた。

集まる基本調査でもすでに一、二兩年、村の労働力の中樞である青年層の工場就労は意外に多く、加へて勇士の出征は勢力の不足を來たしてゐるのに尙ほ依然として一挺の鋤、一俵の糠による現狀です。さる家の座談會に於て何故飼つてある牛馬を使はぬかと訊いたところ之れを使ふには二人がよりです。それなら二つの鋤で耕した方が早いと云ふので一人て使ふべき牛を二人づれでは成程と恐縮しました。これでどうして勢力を補へやうか、寧ろ今まで切り抜けてきた努力こそ不思議なぐらゐです。その外見案にしか思へない雇人、五間も六間も離れ、風の居場所炊事場、水汲みのコッから主婦の労働、座り仕事からお洗濯の操作まで一から十まで陳べられ、これ等を一般民とともに研究し共に改善し、合理的に導きよりによき農村農家の再建に精

進し、併せて従後農村の更生、生産力補充強化がわれわれの使命です。幸ひ諸官衛は各村民各位の協力を得て所期の目的貫徹に精進したい決意です。(完)

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

皇軍戦勝ニ冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 電一四〇 豊富陳列 漸新型

子供帽子 中折帽子

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄
藥局

平市新川町九一
入院隨意 木村病院
病室完備 電話一六四

根本 婦人科醫院
平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄
(入院隨時) 電話三四番

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需(自炊の便あり)

山野藥局

四〇〇瓦入 五十五番
八〇〇瓦入 九十五番
二〇〇瓦入 二四番
一〇〇瓦入 四番

五丁目角

便利で 經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です
平日十八(西村屋横町)
電話七二三番

店南屋釜
九九・九電

スヘイン G.H.N 元話
ゴルフポートワイン
甘味 糖 1.20
婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舖 (電)

江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎
電話六九一番

専門 皮膚科 泌尿科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

カバと洋品類

眞砂屋 (前驛市平) 電話五六

診療科目
一、齒科一般
一、口腔外科
一、レントゲン

院長 日人齒科醫學士 中野忠次
日大齒科醫學士 堀谷伍郎
副院長 佐藤重義

電話五〇九番

新いわき新聞社